

# 石城時報

石城郡石城町平野町十四  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
石城郡石城町平野町十四  
發行所 石城時報社  
電話 一四四  
廣告料 一行十文字 一月五拾錢  
印刷料 一行十文字 一月五拾錢  
日刊(日曜祭日)休刊

## 石城荷馬車組合で 衆議員に陳情 車輪副員改正について

石城荷馬車業聯合組合では組合長森本盛一、副組合長寺田甚右衛門兩氏が過般より荷馬車車輪幅員改正に關する件につき縣並に政府に陳情すべく調印を求めつゝあつたが、調印纏つたので十八日左の如き陳情書を小柳知事並に衆議院議長藤澤榮之輔兩所宛提出した。

### 歎願書

大正九年十二月十六日内務省令第四十五號を以て改正せられたる荷馬車輪幅員改正に關する件は當時直に車体改造を成し得ざる事情ありし故を以て本年十二月まで其實施延期を請願し其の御許可を得て今日に及びたる次第に御座候。然るに財界の不況は益々深刻の度を増し加ふる貨物自動車の利用普及は日に増大せられ逐年荷馬車業者を壓迫し爲めに或は業務の閑散を來し

## 平から澤渡まで 乗合自動車運轉 三井氏外一名に許可

平町三井自動車部三井留吉、好十八日附で認可された。右路線は間道株式會社山崎佐一郎兩氏は平から好間を経て澤渡下市萱が軽く一戸當り十七圓九十四錢は昨年平、澤渡間の乗合自動車に至る六里の間で、兩氏は舊正の運轉許可方を出願してゐたが月までに運轉を開始する筈であ

る。同地方は平町からも遠く磐越線夏井、川前兩驛からも四里余の距離にあり、今回の自動車運轉許可で一般は非常に喜んでゐる、料金片道八十錢である

## 平町の統計 發展ぶり

最近の統計  
平町の統計から覗いた五年度における縣内福島、若松、郡山の各局の各種比較を見る

平町の電報發着中繼は計二十七萬五千七百三十三通、福島局に次いで第二位を占め、郵便引受け二百八十五萬三千九百七十三通、配達三百二十六萬六千八百八通で、福島、若松の順で第三位、貯金は預入れ百七十三萬六千五百五圓、拂戻額百六十二萬八千六百圓で福島局に次ぎ結局二等局の名をばつかしめない事となつてゐる。更に平驛の乗降人員並に貨物移動状態は

乗客百五萬一千七十一人、降客百二萬一千八百三十二人、三市をばるかに凌ぎ第一位に座してゐるが貨物は移入九十五萬六千六百四十四噸、移出四萬一千二百三十七噸で福島驛に上席を讓つてゐる。なほ各種税に至つては國稅並に福島縣各種税共各市に比して負擔が軽く一戸當り十七圓九十四錢は昨年平、澤渡間の乗合自動車に至る六里の間で、兩氏は舊正の運轉許可方を出願してゐたが月までに運轉を開始する筈であ

## 寄附金を使ひ込んだ 青年團の正副團長 總會場で會員が質問 内郷青年團採める

石城郡内郷青年團並に處女會の聯合總會は十八日午前九時から同村内郷團に開催したが、會員である同村大字御臺境某は會中緊張動議ありとして提案を叫んだが議長之を許さなかつたので自席に起立し團長吉田三郎副團長山崎廣元兩氏は昨年平町で開催した縣青年體育大會當時村内有志から寄附を集めた際際際(三六)は去る十日より十三日まで收書を誤間化して數十圓を遊興費に當てたといふ噂があるが如何?と質問したので問題となり治郎所有の行李の中より十圓を窃取宿代二圓六十六錢を踏倒し議場混亂に陥つたが、議長であつた團長は之に對し何等答辯をしなかつた由である。

## 宿屋で盗む

石城郡理髮業組合總會は十七日當の比佐氏より自分に相談なく午前十時より平町マルトモビル息子が獨斷でやつたこと全然樓上に開催、出席者三百余名野自分の感知しない所であるが、騎組合長の開會の辭にはじまり直に議事に入り役員選舉に移り左の如く當選、新組合長比佐信太郎氏の挨拶ありたるのち徒弟之を諒とした。新役員左の如し

## 平湯本町問で 騎兵の現地戰術 若松中佐外二十名來平

仙臺騎兵第二聯隊の將校現地戰術訓練的の有機性分離の科學試驗は十九日から二十一日まで平湯本町問で行つてゐるが參加將校は石城郡赤井村出身同聯隊長若松晴司中佐以下二十名で二十一日には第二師團小野參謀長來平し講評をなす。

## 建築用材 入山で研究

福島縣石城郡湯本町入山炭礦燃料不良の儘に粗炭として玉石混濁灰化する事は大なる國家産業所では石炭の燃料外應用といふ混濁灰だと云ふにあつて同研

究試驗の結果炭素の完全分離に成功すれば炭價下落で一噸四圓五十錢の安値に値する石炭が十倍の四十五圓位となり炭業界に一大光明を齎らす譯であるのでその結果は期待されてゐる。

## 問題の比佐信太郎氏 理髮組合に陳謝 かくして平穩裡に 理髮組合長に當選

石城郡理髮業組合總會は十七日當の比佐氏より自分に相談なく午前十時より平町マルトモビル息子が獨斷でやつたこと全然樓上に開催、出席者三百余名野自分の感知しない所であるが、騎組合長の開會の辭にはじまり直に議事に入り役員選舉に移り左の如く當選、新組合長比佐信太郎氏の挨拶ありたるのち徒弟之を諒とした。新役員左の如し

## 問題の暗橋二ヶ所を 本年度中に改修 吉田、吉村兩議員等陳情 關係地方民大喜び

平町字紺屋町から研町に至る箇町、材木町方面は洪水に見舞は所の暗橋並に古鑑治町南の暗橋、事がなくなつたので非常常雨毎に汎濫し附近一帶の住家に浸水するので地元では改修を希望し木澤區長に依頼して改修工事の運動を續けて來たが十七日石城郡三坂村大字下三坂字明戸吉田寅之輔兩氏が町役場技手菅村を流る三均川の橋を渡る際原、佐藤氏等陳情の結果本年泥酔してゐたため轉落溺死した

## 泥酔して 河中に轉落

石城郡三坂村大字下三坂字明戸吉田寅之輔兩氏が町役場技手菅村を流る三均川の橋を渡る際原、佐藤氏等陳情の結果本年泥酔してゐたため轉落溺死した

蛇繩麻

(一) 小川文章
吾人は茲に昭和六年といふ新しい年を迎えた、やれ尖端的スピード時代、エロダ、グロダ、三一年型だといふ八釜しい世の中ではある。一年の計は元且に在りとは誰が云ひ初めたものか全くそれに違ひない。固より時間空間を超越した見地からするならば、何も新舊の別を立て、改まる程でもないが、先づ「明まして御目出度う」とやるのも面白い。況や長い浮世に短い命、いつか始めていつか終りとも判らぬ世の中に五十年が七十年高々百二十五年と相場のさまつた人生、それがノベツ幕なしと云ふのでは誠に張合がなくて「さう」ダラシない氣持になるのが、幸に仕切をつけ、年月日時分秒瞬間、刹那と分けて其所に新しい氣分を生じ、萬事緊張味をつけて行くやうにし、又そこに新計畫も立ち新事業も出て來るといふ次第又其間に成功失敗悲喜交々がこに真に人間の面白さがあり意義があるのではあるまいか。

度量衡計量器
吸入酸素
吸入酸素器
開内藥局
電話四〇番

腸胃 毒核
内科 婦人病 皮膚病
院醫科村松
(七〇一七番) 町南町平

榮共ト存共△
融益ノ易融△
蓄貯ノ味趣△
商堅ト意誠△
會商盡無城警

高級品に有名品に
迷ふ勿れ!!!
品質本位の詰替の
ホリムは是非當店へ
芳香園
理髮器具店
電話六八〇番
白衣各種

レコード破りの石炭大特賣
磐城炭礦一等級炭
正味十貫匁一俵金卅錢也
御注文は
電話三三七番へ
阿部石炭商店

家傳秘法腫物湯
腫物湯 製劑所
助膿湯 製劑所
榮野醫院 製劑部

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科
安齊外科醫院
電話四七五

BISHINGAN
滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「栗守酒」
栗守酒特約店 大平屋藥店
代理店 平町五丁目 山野邊藥局

專門内科一般
内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
川井内科診療所
電話一八二番

平看護婦會
藤沼醫院
電話平四七番